

1. 教科の目標

・具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解を深めるとともに、加法及び減法の意味についての理解を深め、もちいることができるようにする。また、乗法の意味を理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
 ・具体物を用いた活動などを通して、長さの単位や測定について理解できるようにし、量に大きさについての感覚を豊かにする。
 ・具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を一層重ね、図形についての感覚を豊かにする。

2. 到達目標

観点	関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解・技能
目標	数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもととするとともに、知識や技能などを進んで用いようとする。	算数的活動を通して、数理的な処理に親しむ。	整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、ものの大きさを測定したり、ものの形を観察したり構成したりする。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方、整数の計算の意味及び量の単位と測定の意味を理解し、図形についての理解の基礎となる経験を重ねている。

3. 年間指導計画

月	学習内容	学習のねらい
4	1. 表とグラフ	・表やグラフから、整理した資料の特徴をとらえることができる。 ・簡単な資料を分類整理して、表やグラフに表したりよんだりすることができる。
5	2. 1000までの数 3. たし算の筆算	・十進位取り記数法にのっとり3位数を表したり、数直線上に3位数の位置を表したりすることができる。また、10を単位とした加減ができる。 ・3位数の表し方、百の位の意味がわかる。 ・(2位数)+(2位数)で繰り上がりなしや、繰り上がりありの計算が筆算でできる。 ・筆算のしかたがわかる。
6	4. ひき算の筆算	・(2位数)-(2位数)で、繰り下がりなし・繰り下がりありの計算が筆算でできる。 ・筆算のしかたがわかる。
7	5. いろいろな形 6. とけい	・立体の面の特徴や物の機能的な面に着目して、図形を分類したり、その面を見通しをもって構成しようと考えたりすることができる。 ・基本的な平面図形を身近なものから取り出し、その基本図形を組み合わせたり、囲んだ線で形を表したりすることができる。 ・時計の長針や短針の示す目盛りの意味がわかる。また、時刻のよみ方、模型の表し方がわかる。
9	7. たし算とひき算(1) 8. 長さ(1)	・問題場面とテープ図を対応してよむことができる ・ものさしを用いて長さを測ることができ、長さの単位mとcmとmmを単位として測ることができる。
10	9. かけ算(1) かけ算の意味 10. かけ算(2) 2～5の段の九九	・乗法の意味を理解するとともに、乗法の答えは、同数累加と同じ答えになることがわかる。 ・乗法のきまりを用いて、手際よく九九を構成するとともに2の段から5の段の九九を使うことができる。
11	11. かけ算(3) 6～9の段の九九	・乗法のきまりを用いて、手際よく九九を構成するとともに6の段から9の段、及び1の段の九九を使うことができる。
12	12. かけざん(4) 九九表 1	・乗法のきまりや九九の表のきまりを使って問題を解くことができる。 ・ものさしを用いて長さを測ることができ、長さの単位mとcmとmmを単位として測ることができる。
2	1. 1000より大きい数 15. 三角形と四角形	・十進位取り記数法の仕組みに気づき、数の相対的な大きさをとらえることができる。 ・位数の表し方がわかる。 ・ものの形の観察や構成・分類などの活動を通して、三角形や四角形を弁別したり、作図したりすることができる。
3	16. たし算とひき算	・テープ図をよみ取り、加法と減法は逆になっていることを説明できる。 ・テープ図をよみ取り、立式することができる。

4. 評価の観点・方法

発言内容 ノートのまとめ方 プリント テスト 学習態度 練習問題 取り組む様子 作品
 長さの計測

5. 保護者の方へのお願い

・筆算の方法を学習します。ノートに書くときに、ものさしを使います。筆箱に、いれておいてください。
 ・ものさしを使って、ながさを測る学習をします。おうちでも、いろいろなものを一緒に測ってみてください。
 ・かけざん九九を繰り返し練習し、しっかり覚えられるよう、励ましてください。